

特集

火災予防を考える

恐いのは、タバコとたきび

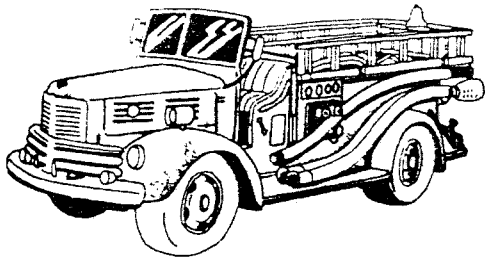
十一月二十六日から「秋の火災予防運動」が始まります。本市の火災による消防自動車の出動はすでに十一件にのぼっています。これから冬に向けて火災の発生しやすい季節を迎えます。過去に大火の経験をもつ本市です。みなさんこれを機に火災予防について考えてみてください。

出火原因の第一位はタバコの火

本市の過去五年間の火災状況をみると出火原因の第一位はタバコの火、続いてたき火、マッチ・ライターの火の順となっています。昭和五十七年から六十二年九月までの火災件数は55件、灰となった市民の財産損害額は四億四千四百万円にのぼっています。

過去5年間の火災件数・損害・原因

年度	火災件数	火災による損害額	出火原因別			
			たばこ	たき火	マッチ・ライター	ごみ焼却の火・他
57	5	1億5千8百万円	1		1	3
58	14	4千百万円	4	1		9
59	5	4千万円	1		1	3
60	11	5千5百万円	2	2	1	6
61	9	1百万円		1		8
計	44	2億9千5百万円	8	4	3	29
62	11 (9月末)	1億4千9百万円	1			10



十一月二十九日(日)市消防本部・各地区消防団では、防火意識の啓蒙を図るためパレードを実施します。

防火パレード実施

消防は、市民生活に密着した広範囲な活動を展開しております。このたび、自治体消防発足四十周年を機に、消防と住民との結びつきを象徴するダイヤルナンバーにちなみ新たに「119番の日」(十一月九日)が設定されました。

「119番の日」
設定

